

# 若い力をまちづくりに

## 平成22年度 日野町成人式



8月15日、日野町文化センターで平成22年度成人式を開きました。新成人は23人（該当者数29人）が出席。会場は、出席した新成人が久しぶりの再会を楽しみました。

式では、町内の合唱団と町民歌を歌ったり、式後の懇親会では、町給食センターが考えた懐かしいメニューのバイキングで親睦を深めました。

午前9時に開会。新成人の門出を祝う式典には多くの出席者があり、盛大に開かれました。

町長をはじめ、列席した来賓のあいさつの中では「国の未来を問うこと、変革を行うのは若い力である」と力を込めて伝えられました。また、これからのまちづくりには若い力が必要とふるさとを思う気持ちを忘れないでほしいと訴えられました。支えてくれた人が思うことは、立派な大人になってほしいことです。

激励の言葉として、中学時代の恩師、岡慎也先生が新成人へ向けて、自分が好きな言葉「経営」を贈りました。「経」は縦線という意味。縦線がしつかりしてないと横に倒れてしまう。人生に縦線を通して

### 人生をしつかり考える



恩師の岡 慎也先生

してほしいとのこと。「自分の体験から、人生を考えられるようになったのは30歳を超えてから。縦線を直すよう生活してほしい」と話し、新成人の心に響きました。



記念講演講師 大部由美さん

### 自分を信じること 周りを大切にすること

式後の記念講演では、境港市出身の女子サッカー元日本代表、大部由美さんがサッカーを通し、チャンス逃がさず、常にチャレンジし続けた人生を話しました。「成功ばかりでない、挫折があったからこそサッカーを続けてこれた。失敗はチャレンジした証。恐れることはない」と前を向いて生きていくことを訴え、「見えない未来は不安だが、一歩踏み出さないと始まらない。未来に向けて頑張ってほしい」とエールを送りました。

新成人を代表して、2人があいさつ。

田辺恵太さん（貝原）は「自分の支えは家族、両親、友達でかけがえのない存在。努力しづらい方向に進んでいく。今はそれぞれの道を歩んでいくが、それぞれの立場で役に立っていききたい」と抱負を述べました。

安達愛佳さん（根雨）は「自分は今、町を離れているが、ここで田舎とばかにされる。しかし、嫌な気はしない。日野町は自然が豊かで、人が温かい。ふと、帰りたくなるときがある。この町には帰ってきたい町になってほしい」とふるさとを思う気持ちを話しました。

### この町が大好き ふるさととは日野町



田辺さん（左）と安達さん

# 元気なまちづくりに向けて

## ▼第9回まちづくり町民会議



草刈り作業で汗を流した防人隊員と地元住民、学生ボランティアのみなさん（別所地区）

まちの話題や、これからのまちづくりなどについて話し合う、日野町まちづくり町民会議（生田公恵会長）が、8月19日、町役場で開かれました。

今回も3班に分かれてのグループ討議を行い、活動状況報告や活動計画について話し合いました。その主な内容についてお知らせします。

### 全体会

#### 〔防人隊の報告〕

▼7月10日に別所地区の水田のあぜや道路脇の草刈りを中心に実施。防人隊員13人、地元住民、学生などのメンバーが参加した。

▼終了後に交流会を開き、親睦を深め、交流会終了後、学生を対象にラフティングを体験した。

#### 〔受け入れ側の感想〕

▼別所・小原の中山間事業と併せて実施し、地区住民14人が参加した。今までボランティアを受け入れる活動をしたことがなく不安であったが、

学生は慣れていっているようで元氣よく積極的に話しかけてくれ、抵抗なく一緒に作業を行うことができた。

▼最初は不安もあったが、やってみるととても楽しかった。こういった取り組みに対して、学生がとても前向きだったのが印象的だった。

▼何事も助け合いが必要と強く感じた。こういった結果を積み重ねることでPRにすることができ、受け入れる自治会も増えるのではないかと。

#### 〔班別意見〕

#### A班

▼ラフティングがどんなものか体験してみたい。D.Oスポーツと協議し、できるだけ早く予定したい。

▼リサイクル関連の視察について、ごみ処理の実態を学び、取り組みを進めたい。また、生ごみを液肥化する自動車について実態を学びたい。

▼大阪から隣の新庄村にUターンしている人がいる。U・J・Iターナーの団体もあると聞く。活動も活発とのこと。日野町と状況が似ている村なので、過疎化に歯止めをかけるヒントになるかもしれない。

▼鉄道マニアが写真を撮りに日野町を訪れている。これを利用して町の活性化につなげることができないか。

#### B班

▼防人隊の活動を2回行い好評を得たが、今後はどうするのか検討が必要。草刈りは伸びたらその都度刈る必要があり、来年も継続できるのかなどいろいろ考える課題は多い。

▼防人隊は町民会議の任期が終われば終了なのか。町民会議としては、防人隊を残したい。

▼つけもの百人会はいよいよアイデアだが、本当に実行できるのかどうか難しい。県の支援も検討されているが、それを受けることができるか分からない。

#### C班

▼今回、町が行った住民アンケートの中で農地の貸し借りについての項目があるので、結果を見てから農地レンタルの推進を検討してみたいかどうか。

▼放射能廃棄物処理場の誘致が、町にとつてどのような効果があるのか勉強会を計画したい。



全体会では、各班の内容を共有する

い。実現するには、町民会議ではなく、漬物を実際に作っている人で組織を作ることが必要。